



# またかた

よろこび多いまちづくり

# 社協だより

vol.34

平成27年  
2月1日号

## 「児童の健全育成と 働くお母さん・お父さんの支援に」 ～児童館・児童クラブ館～



児童館・児童クラブ館では、保護者の勤務などにより昼間保護者が居ない環境にある児童に、学校の授業終了後の時間など、生活の場を提供し、遊びやその他の活動を通じて児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施しています。

(喜多方市社会福祉協議会では、喜多方地区の10施設について市から一部委託を受けています)

### ● おもな内容 ●

- 第10回喜多方市社会福祉大会 …………… 2  
表彰者・児童・生徒の福祉作文 3・4・5
- 介護職員初任者研修・  
ふれあいだより・陶芸教室…………… 6・7
- 共同募金、歳末たすけあい報告 …………… 8
- よらんしょネット …………… 9
- おもちゃ図書館・活動センター展  
・入れ歯回収・エコボランティア…………… 10
- ほのぼのニュース・寄付報告 …………… 11
- 活動センター会員募集・除雪ボランティア …… 12

# 第10回 喜多方市社会福祉大会

市町村合併後第10回目となる「喜多方市社会福祉大会」は11月20日（木）、来賓の方々、市内の福祉事業関係者、市民の皆様合わせ、430名の参加をいただき、盛大に開催されました。

大会席上では、喜多方市の社会福祉向上並びに、共同募金運動に貢献された個人、団体にそれぞれ、表彰状、感謝状が贈られました。

また、市内小中学校生から募集した「福祉作文」の優秀作品5編の発表も行われ、次世代を担う児童生徒の福祉に対する考え方や思いを、参加者の皆さんも感心して聞いておられました。

本年度の記念講演は、相田みつを美術館長の相田一人さんをお招きし、「父 相田みつをの歩んだ『道』」と題し、書家で詩人の故相田みつをさんの人生観や、多くの作品のそれぞれが持つ意味について深く心に刻まれるお話をいただきました。



## 【社会福祉大会長表彰】

多年にわたり地域福祉の充実に尽くされた方、団体に

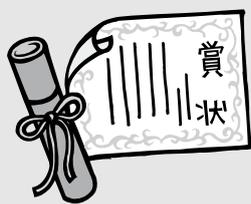
- 唐橋 秀子 様
- 関口 明 様
- 五十嵐 進 様
- 渡部 光典 様
- 吉田 市郎 様
- 高畑 光 様
- 酒井 文雄 様
- 荒海 良市 様
- ボランティアあさくらの会 様
- 生協 ひまわり会 様

## 【社会福祉大会長感謝】

社会福祉事業を理解し多額の寄付をされた方

- 山本 豪 様
  - 花見 幸子 様
  - 手代木 洋次 様
- 【福島県共同募金会長感謝】  
共同募金運動を理解し、多額の寄付をされた方  
五十嵐 英子 様

- 五十嵐 カツ子 様
- 刃米 次郎 様
- 鵜名山 不二男 様
- 遠藤 隆幸 様
- 川上 輝次 様
- 齋藤 勇 様
- 齋藤 重幸 様
- 佐藤 善雄 様
- 高畠 幸英 様
- 塚原 ハルイ 様
- 塚原 久子 様
- 新田 冠治 様
- 若狭 光子 様
- 渡邊 寅之助 様
- 会津いいで農業協同組合 様
- 会津喜多方ライオンズクラブ 様
- 医療法人 昨雲会
- 飯塚病院・有隣病院職員一同 様
- 喜多方市ボランティア連絡協議会 様
- 株式会社サクマコーポレーション 様
- 一般社団法人 南町報徳社 様
- 満福寺 様



## 【福島県共同募金会長感謝】

学校や街頭などで募金運動を行うなど、多大な貢献をされた団体

喜多方市立	第一小学校	様
〃	第二小学校	様
〃	上三宮小学校	様
〃	第三小学校	様
〃	豊川小学校	様
〃	慶徳小学校	様
〃	熱塩小学校	様
〃	加納小学校	様
〃	山都小学校	様
〃	高郷小学校	様
〃	第二中学校	様
〃	第三中学校	様
〃	会北中学校	様
〃	山都中学校	様
〃	高郷中学校	様
福島県立	喜多方高等学校	様
〃	喜多方東高等学校	様
〃	JRC委員会	様
〃	喜多方桐桜高等学校	様
〃	耶麻農業高等学校	様
〃	喜多方仏教会	様
〃	ガールスカウト福島第17団	様
〃	山都町赤十字奉仕団	様

## 児童生徒の福祉作文

### 優秀作品のご紹介

喜多方市社会福祉協議会では、次世代を担う児童・生徒の皆さんが、福祉への理解と関心を持ち、ボランティア精神を育むため、市内小中学校をボランティア協力指定校として指定し、各学校ごとに行われる福祉教育を支援しています。

今般、社会福祉大会に併せ発行した福祉作文集「ちいさなて」には、福祉に関する口頃からの思いや、学校でのボランティア活動、地域や家庭での福祉体験などが、子どもたちの目線でいきいきと表現されていました。以下の作品5点は、平成26年度の優秀作品として選考され、社会福祉大会の席上で発表されたものです。

## 小学生の部 優秀作品

### みんなで力を合わせて



喜多方第二小学校  
6年 羽入 彩乃

「めんどくさいなあ」

から始まる、休み明けなどの朝の草むしりが始まってしまいました。私は草むしりが大きらいでした。だって雨が降った後は手がぬれて、手がドロドロになってよごれるし、虫がうじゃうじゃいて気持ち悪いからです。しかも、私の周りにいた友達も話をして、しゃべっていて、

「私だけやってもきれいにならないし……。」  
と、思っただけで、さびしくなりました。その私が草むしりをする場所だけ草が残っていて、他の場所よりきたなく思えました。何日かしぶしぶ草むしりをしていたら、近所に住んでいるおばあさんが、

「二小の花だんはいっつも見てもきれいだね。毎日のように見ているけど見とれちゃうよ。いつもきれいにしてくれて、どうもありがとう。これからも楽しみに見るからね。」

と言われ、私は軽くおじぎをしました。本当はうれしいことを言われたはずなのですが、今まで私がしてきたことをふり返って、とてもはさかしくなっていました。私はしばらく考えずしてしまいました。そして、

「よし。あのおばあさんに今度はほめられた時に、むねを張って『ありがとうごさいます』『と、しっかりとしたお礼を言うように、みんなで

力を合わせ、草むしりをして、他の学校の人や観光客にほかれるような新しい二小をつくり出そう。」

と考えつきました。

私はそれから草むしりをする時は、だれよりも早く草むしりができるように、できるだけ早く花だんへ向かいました。そして、私が一生懸命草むしりしていると、今までしゃべっていた友達もしんげんに取り組んでいました。また、私たちのことを見ていた一年生などの下級生も、今までよりしんげんに取り組んでいました。私は草むしりをしていて時間がいつもより短く感じ、またいつもより私が草むしりをしたところがきれいになっているのに気がつきました。しかも、全校生徒で力を合わせて草むしりに取り組んだので、今までの二小よりも見かけえるほどきれいになったと感じました。

しばらくして、またあのおばあさんがしゃべりかけてくれました。

「前よりも、もっときれいになったね。」

と言われ私は、がんばった成果を認めてもらって本当にうれしかったです。その日は、むねを張って、

「ありがとうごさいます。」

と言っことができました。

私は、この経験を通して「みんなで力を合わせることの大切さ」を学びました。そして、みんなで力を合わせてボランティアをするには、「まず自分から行動をおこすことの大切さ」にも気づきました。私は、これからもむねを張って取り組んでいきたいです。

## 今の私にできること

喜多方市立第二小学校  
6年 鈴木奈津美

「オギャァ、オギャァ。」

私の家に、この声がひびかない日はない。八月五日の夜中、私の二人目の妹が生まれた。名前は美咲。まゆ毛やまつ毛がまだあまり生えていなくて、口をこもこもさせながら寝ている。目を開けた姿はとてもかわいくてたまらない。

でも、いやな時もある。私が宿題をしている時に泣き出し、宿題が進まない。しかたなく抱っこをすると、あつたかかった。そして、小っちゃい手をしてた。私は、「この小さな手が、どんな未来をつくり出すのだろう。」

と、思った。美咲ちゃんには、この後長い長い命がある。その間に、日本はどう変わるのだろう、と思った。

私は、ボランティアがあまり好きではなかった。五年生の後半から始まった朝のボランティア清掃、草むしり、あいさつ運動、ゴミ拾い、JRC委員会のベルマーク回収など、この全てが好きではなかった。でも、そんなとき美咲ちゃんのことを考えた。美咲ちゃんが大人になった時、環境が悪くなっていたり、住みにくい学校、喜多方、日本になっていたりしてしまうのではないかと。美咲ちゃんが大人になったときには、今よりも自然豊かできれいですてきな学校、喜多方、日本であってほ

しい、と思った。だから、私は積極的にボランティア活動に参加することにした。

まず、草むしり。最初のうちは、おしやべりが多かったけど、今はしゃべらないで草むしりをしている。陸上の練習を見学しているときも走らないかわりに校庭や花壇の草むしりを自主的に取り組んだ。そして、ゴミ拾い。下校中、歩きながら

ゴミが落ちていたら拾うようにした。道路のわきの草むらにタバコのゴミが落ちていたことが多かった。校庭や花壇、そして道路がきれいになっていくのを見ていくうちに、だんだんとボランティア活動が好きになっていった。美咲ちゃんのためにやりはじめたことが、だんだんみんなのためにやることがわかり、達成感も大きくなった。

それがわかってからは、JRC委員会のベルマーク集めも積極的に友達に声をかけるようになった。集めて点数を数えるのも楽しい。これでだれかが助かるんだと思うとわくわくする。そしてあいさつ運動の人たちに元気にあいさつをすることもできるようになった。ボランティア活動をがんばるようになって、私は心から元氣になったと思う。

ボランティア活動は、誰かのためにやるだけではなく、自分も元氣にしてくれる活動だと思う。私は、これからもういろいろなボランティア活動をしていきたいと思う。今日も、私は美咲ちゃんの小さい手を見つめながら思う。

「今日は、どんなボランティアしようかな。」

## 三月十一日の

## 東日本大震災

喜多方市立第三小学校  
6年 真壁 来海

三月十一日、東北地方で大震災がおこりました。津波や大地震がおこり、たくさんの方々が亡くなりました。行方が分からない人などもたくさんいました。そのようなことがテレビやラジオで流れていると、とても悲しかったし、かわいそうだと思いました。

でも、一生懸命探している人や、あきらめず家族を待っている人たちがいるのを見て、とてもかん心しました。今では、地域で避難訓練を行ったり、学校では、救命救急講座などを行ったりして自分たちの身を自分で守ることを教えてもらっているところもあります。

私も、ただ見ているだけでなく、実際にボランティア活動のチラシが来ると、ゴミを拾ったり、そうじをしたりとできることは、できるかぎりやっています。ボランティアをやって、がれきの破へんやつかっていた食器など、まだ生きているような物がたくさんありました。くつや洋服もあってそれを見るとテレビで見ると何倍も何十倍も悲しくなりました。今は、このようなボランティアをや

っている人たちのおかげで、いわき市や相馬市内も災害が大きかったところも、もと通りとはいきませんが、だんだん元にもどっていつていることは確かです。人と人が助け合って、支え合って、きれいにしたり、元通りにしたりして今の福島県があるのだと思います。ボランティアに行った時、若い人もいましたが、六十才の人や七十才の人たちもいました。その人たちは、津波で家族が流されてしまったそうです。しかし、最近では、ニュースや新聞などでは、あまり報道されなくなっています。私は、報道されなくなったとしても、三月十一日の日は、忘れないでほしいです。被災した人たちは、まだきつと心の中ではおびえているのだと思います。そのことを同じ人として、人間として、分かちあうことが必要となる、一つのかぎだと思っています。

私は、このようなボランティアをやって、被災にあつた人たちが心に傷を負っている人たちがたくさんいることがわかりました。その人たちのために、何かをしてあげたい、何かをしていやってあげたいと思いました。人のために何かをしたいのために何かをつくす、そのようなことをボランティアを通して分かっています。だから、これからも、困っている人を助けたり、人のために何かをしてあげたいと心から思います。

## 介護福祉施設での

### 職場体験を通して



喜多方市立第二中学校  
2年 渡部 玲

私が職場体験で介護福祉施設を希望した理由は、私の近所にはお年寄りが多く、介護施設を利用していらっしゃる方が多かったからです。地域のお年寄りの方々を介護している施設とはどのような所なのか、知りたかったのが一番の理由です。

職場体験では、天心ケアハイッテイケアの皆さんにお世話になりました。ここでは、リハビリを中心に、お年寄りの皆さんが自分でできることは時間が経っても自分でやってもらうようにしていました。こういった施設では、すべてお年寄りにやってあげていると思っていた私は、介護施設に対する印象が大きく変わりました。

職場体験で学んだことの中で、特に心に残ったことが二つあります。まず一つ目はコミュニケーションの大切さです。利用者の方々とお話をする機会をたくさんいただきましたが、はじめは単調な受け答えしかできず、話もなかなかはずまない状態でした。そこで、職員の方達と利用者の皆さんがどのような会話をしているのか実際に聞いてみることにしました。

ここでは、お年寄りの話をもつ一度聞き直したり、さらに細かい内容を質問したりと、とても会話が広がっていました。私も職員の方達を見習って話してみると、会話が進みとても楽しくなってきました。施設という特別な環境だけでなく、日常生活においてもコミュニケーションはとても大切です。今回の経験は、間違いなくこれからの私自身の生活に役立つものと言えます。

二つめは気配りの大切さです。職員の方達が利用者の皆さんに出すお茶は、やけどをしないように冷たいお茶を少し混ぜて出していました。ちょっとしたことかもしれませんが、毎回となるとけっこう手間のかかることです。しかし、このような細かい気配りが、人を大切にするためのものなのだと感じました。相手のために何ができるか、何をすべきなのかを考え行動することの大切さを、今まで以上に深く考えることができました。

私たちは、働くことの大切さや厳しさを学ぶ目的で職場体験を行ったわけですが、私はそれ以上に、人のために尽くすことの尊さを学ぶことができました。これから私自身が生きていく中で、このことはずっと心の真ん中にあるような気がします。またいつか、人のために行動できるよう、自分自身をさらに成長させたいと思います。

## ボランティア活動

### から学んだこと



喜多方市立塩川中学校  
3年 東條 佳奈

今年の夏休み、私はサマーショートボランティアスクールの活動に参加しました。中学一年生の時から参加していて、今年で三年目になります。一年生の時は、ボランティア委員会の友達に誘われて、嫌々ではないにしろ、自分から進んで参加したわけはありませんでした。私は今までこういう活動に参加したことがなかったし、どこで何をすることも全くわかりませんでした。不安を持ちながら参加しました。行った所はデイサービスで主に利用者さんの介護のお手伝いをして、話し相手になったりして、直接触れ合うことが多くありました。私も友だちも最初は緊張して職員の方々に言われるまで、右往左往するくらいしか出来ませんでした。でも三日目の最終日には利用者さんと普通に話が出来るようになり、職員の方々に言われたことも緊張せずに出来るようになったと思います。

三年目の今年は初めて自分から行きたいと思ってきました。今年は今まで経験したことを生かして、一生懸命笑顔で利用者さんと接するよになりました。三回目のサマーショートボランティアスクールの活動は、今までの中で一番充実した活動が出来たんじゃないかと思っています。私はこれらの体験から学んだことがたくさんありました。まずは、「人を優しく思う気持ち」です。優しくしたいと思ってもなかなか行動に移すのは難しいです。私なりに小さいことから始めていけば、世の中に対してボランティア活動をしていけるのではないかと思います。それとは逆に「人に優しくされる」ということも私なりに感じました。人間は人には優しくされるから他人にも優しくしたいと思うのだと思います。お互いがお互いを思い合うことがボランティア精神の基本であり、ボランティア活動につながるのだと私は思います。花火大会の後のゴミ拾いのボランティアにも三年間参加しました。

二年の時は違う友だちに誘われて参加することになりました。一度やったという安心感から、前の年よりは利用者さんと積極的に接することが出来たような気がします。

私は、「続けていくことがやはり大切」であるという気持ちを大切にしていって、これからも、大なり小なりボランティア活動を続けていきたいと思っています。

# 平成26年度介護職員初任者研修

～喜多方市内の介護人材育成のために～

介護職員不足は今や大きな社会問題になっていますが、喜多方市内においても介護施設や事業所が次々と開設する一方で、職員不足が共通の課題となっています。

そのような状況のなか、本協議会では福島県からの認可を受け、介護職員初任者研修事業に取り組みました。

介護職員としての基礎的な知識と技術を学ぼうと、市内外から28名の方が受講し25日間、134時間の研修に積極的に取り組み、12月24日の閉講式には、本協議会会長から一人ひとりに修了証明書が手渡されました。



## ふれあいだより



喜多方地区

### 喜多方桐桜高校3年生(家庭看護・福祉)が高齢者疑似体験

喜多方桐桜高校3年生の選択授業「家庭看護・福祉」で、高齢者の心身の特徴と生活及び高齢者の福祉について学習するとのことと、講義と高齢者の疑似体験を行いました。

今回は、「階段の昇降」「お金(小銭)の出し入れ」「はさみで型を切り抜く」「色の識別」の疑似体験プログラムに挑戦しました。

疑似体験は心を育てる事業。今後、社会に出てどんな仕事に就いたとしても、相手の立場になって考え、人を思いやる気持ちを大切にしてほしいと思います。



### 団子さし開催 ～おもちゃ図書館～

熱塩加納地区



小正月行事を体験する『団子さし』が1月13日夢の森で33人の親子が参加して楽しみました。

この日は赤十字奉仕団のみなさんのご協力で、子どもたちに団子さしの意味などをわかりやすく説明しながら、団子や飾り物を飾っていました。子どもたちは身体に粉を付けながら飾り付けに夢中でした。

お母さんは「子どもに昔の行事を体験させたくて参加した」と話していました。

また、この日デイサービス利用者のみ

なさんにも団子さしをしていただきました。

それぞれ飾りつけたものは、夢の森玄関でご披露して来館者に見てもらいました。



## 塩川地区 劇団「赤いトマト」による公演会開催

塩川地区ふれあい福祉協議会主催により、劇団「赤いトマト」による人形劇「太郎と花子の物語～福島しいたけ農家の悲劇～」と新作劇「さよならパツーン」の公演会を開催しました。

劇団「赤いトマト」は、農業を営みながら、手づくりの人形を操り、県内を中心に保育所や幼稚園などで、参加対象に合わせたいろいろな劇を披露されています。

今回の人形劇は、原発事故の悲劇を二度と繰り返さない為にとの思いを込めた作品で、参加された方からは「他の作品も見てみたい」との声が寄せられました。



## 笑顔ビーム!

### 山都地区



山都支所では、町内の高齢者の方へ「食生活改善推進委員会山都グループ」作成のカップケーキに、「山都児童クラブ」の子ども達が色付けした可愛いクリスマスカードと、全員の写真を添えてお届けしました。笑顔いっぱいのプレゼントに、皆さんも思わず「めごいな～」と笑顔!笑顔!



## 高郷地区 西黄地区いきいきサロン

12月10日、高郷町西黄地区のいきいきサロンでは、喜多方警察署より講師をお呼びして日常生活の安全を高めることを目的に、高齢者を狙った詐欺行為について研修会を開催致しました。研修の後、会員の皆さんは家族や地域でもお互いに、注意を呼びかけたいと語り合いました。



## 陶芸教室開講のご案内

喜多方市社会福祉協議会塩川支所・山都支所では、平成27年度陶芸教室の会員を募集しております。

仲間同士の楽しいおしゃべりはもちろんの事、形や釉の創意工夫や指先に神経を集中しての制作は高齢者の生きがい健康づくりにおおいに役立ちます。

一緒に入会して「世界にひとつだけの名品」を作ってみませんか。

- 募集期間** 平成27年2月1日～3月31日
- 開講期間** 平成27年4月下旬～11月中旬
- 会員資格** 概ね55歳以上で喜多方市在住の方

【問合せ・申込みは下記までお願い致します。】

**喜多方市社会福祉協議会**

塩川支所 ☎ 0241-27-3948

山都支所 ☎ 0241-38-3100



# 平成26年度赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました

## 御 礼

平成二十六年度赤い羽根共同募金運動が十月から十二月の三ヶ月間にわたり、地域における社会福祉の充実を目標とし「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに全国一斉に展開されました。

本市におきましても、市民一人ひとりの善意や、関係各位の多大なご協力を賜り、本年度も無事に終了することができました。

皆様には、共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるためのご支援とご協力を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金や歳末たすけあい募金へお寄せいただいた寄附金は、援助を必要としている方への激励や、社会福祉の増進のための地域活動等に配分されることとなっております。

今後も「皆様の善意」を様々なかたちで、「皆様の地域」に根ざした福祉活動の拡充に努めてまいりますので、共同募金運動への変わりぬぐご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

平成二十七年二月

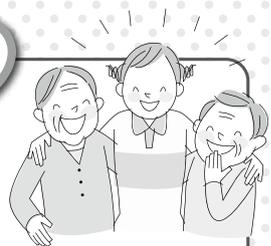
共同募金会喜多方市支会長 山口 信也  
喜多方市社会福祉協議会長 武藤 顯夫



平成27年1月20日現在

地 区	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
喜 多 方 地 区	4,527,504円	1,962,231円
熱 塩 加 納 地 区	463,963円	559,500円
塩 川 地 区	2,180,880円	1,217,816円
山 都 地 区	837,776円	628,250円
高 郷 地 区	375,220円	277,500円
合 計	8,385,343円	4,645,297円

# “よらんしよネット”



喜多方市地域包括支援センターだより

元気を応援!!

あなたの街の  
「喜多方市地域包括支援センター」  
お気軽にご相談ください。  
TEL.0241-21-8856

地域包括支援センターは、高齢者の方が住みなれた地域で安心して生活できるよう総合的に支えていくための拠点です。

行政機関、介護サービス事業所、医療機関、警察など関係機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。

## 包括支援センターの活動を紹介します

### 介護予防教室

H26.11.12熱塩加納町針生多目的集会センターにおいて、針生ひだまりサロン会員の皆様を対象に行いました。体操やゲーム、インフルエンザ予防の講話などにより介護予防への意識を高めております。



### 街かど相談室

H26.11.9『第1回市民活動フェスティバル』(喜多方市厚生会館)、『きらり喜多方健康福祉祭』(押切川公園体育館)において、血圧測定と健康・介護・福祉に関する相談を受けました。今後もイベント等に合せて開設していきたいと考えております。



### 第2回介護保険事業所合同研修会

H26.12.4市内の居宅ケアマネジャー、各介護事業所や施設の方々を対象に研修会を開催しました。太田熱海病院の黒羽里美理学療法士により「皮膚トラブルを避けるためのポジショニング講座」という内容で床ずれ予防等について学びました。



### 認知症サポーター養成講座

H26.10.27山都町寺内公民館において地域住民の方を対象に、また、H26.12.11には岩月交遊館において喜多方磐青の会員の方を対象に行いました。

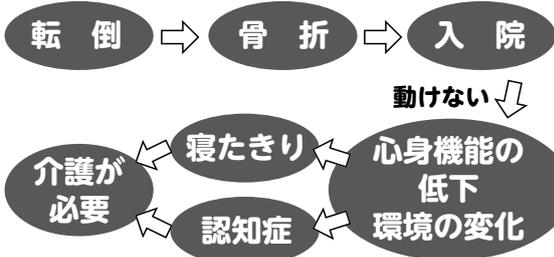
認知症の方を地域で支えるために認知症についての理解を深めました。

## 介護予防豆ちしき

### 介護予防は転倒予防から

1月～2月は転倒事故が特に多発する季節です。高齢者の転倒は、骨粗しょう症等が要因で骨折し、そこから介護が必要になる方が多くみられます。転倒を予防して、元気な状態を維持しましょう!

#### 転倒するとどうなるの?



### 転倒しやすい場所をチェックする合い言葉

ぬ	か	づけ
ぬれている所 は滑りやすい	かいだん、 段差のある所 は転びやすい	片づけていない 部屋はつまずき やすい

### 冬はツルツル路面に注意しましょう

- バスやタクシーの乗降場所、車の出入りのある歩道、店の出入り口などは、雪が踏み固められてツルツルになっています。
- 横断歩道の白線部は染料により水が染み込まず氷膜ができて滑りやすくなっています。
- 雪道から建物内のタイル張りの場所へ入る時、靴裏に雪が着いたままだと滑りやすいです。

## おもちゃ図書館やっていますよ～

社会福祉協議会では、子育て支援の一環として、市内各地区において市の保健師さんや、主任児童委員、ボランティアグループの皆さんと連携しながら、「おもちゃ図書館」を開設しています。

大型のおもちゃ、楽しいおもちゃ、絵本などを用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。



地区	開催日時	会場
喜多方	毎週金曜日、第1・3火曜日 9:30～11:30	喜多方市総合福祉センター
熱塩加納	毎月第2火曜日 9:30～11:30	夢の森
塩川	毎週金曜日 10:00～11:30	塩川いきいきセンター
山都	隔週水曜日 9:30～11:30	山都保健センター
高郷	毎月第4木曜日 10:00～11:30	カイギウランドたかさと



## 喜多方市高齢者生産活動センター展のお知らせ

**開催日** 平成27年3月10日(火)～13日(金)までの4日間

**場所** 喜多方市高齢者生産活動センター施設内(岩月町宮津字火付沢3567-1)

**時間** 10:00～15:00

**内容** 次年度入会希望者への体験教室や、作品展示及び作品販売を行います。

**体験**

グループ名	体験料	体験者受入人数	内容
陶芸	1,100円	毎回10名	皿・丼・花瓶など
手芸	600円	毎回5名	吊るし飾り(布)
織物	700円	毎回5名	裂き織のテーブルセンター
押し花絵	500円	毎回5名	しおり、1/4色紙

**体験申込み** 体験を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。

**展示・販売** 10:00～15:00 ご自由にお越し下さい。

**問い合わせ先**

喜多方市高齢者生産活動センター  
☎0241-24-2297 担当 花見

## 「不要入れ歯がご家庭で眠っていませんか？」

入れ歯には希少な金属が使用されており、リサイクルによる益金はユニセフを通じ、世界の恵まれない子どもたちを支援し、また地域の福祉事業に活用されますので、回収事業にご協力をお願いします。

**\*入れ歯の回収手順**

- ①汚れを落とし、熱湯か入れ歯洗浄剤で消毒
- ②新聞紙等で包み、ビニール袋に入れる
- ③下記の窓口に設置してある

「入れ歯回収ボックス」に投入

**\*回収ボックスの設置場所**

喜多方市社会福祉協議会 本・支所窓口  
喜多方市役所本庁 1階 保健課

## ありがとう!～エコボランティア～

社協では資源回収を福祉事業に活かすため、①プルタブ②アルミ缶③ペットボトルキャップの収集活動を行っています。

今年も大勢のエコボランティアの皆さんに協力していただきました。

ありがとうございました。



プルタブ回収協力者の邊見菜月さん、泰士くん(山都町)

～ほのぼのニュース～

～一市民さん  
からの手紙～

毎年、素敵なお手紙と一緒に善意の寄付をお送りいただいている「一市民」さん。

今年もお元気でお過ごしとのこと、安心しました。

貴方の思いに応えられるよう、地域福祉、高齢者福祉向上のため職員一同がんばります。

今年もありがとうございます。

道に落ち葉の散り敷くころとなりました。

すっかり日も短くなり、朝夕めつきり寒くなりましたね。

職員の皆様、常日頃お勤め本当にご苦労さまです。

先日、社会福祉協議会で介護を利用されている方が、職員の方に親切に面倒みてもらっている事に大変感謝されてましたよ。

今は、介護問題でも弱い立場の人間を大事にしない政治に私も腹をたてています。今日の社会を背負ってこられた高齢者の方々の面倒をみていくのは当然と思いますが、手枷足枷、縛りつけるとは悲しいことですが、元気に困難に向かっていきたいと思えます。ご苦労をかけると思えますが、これからも高齢者の方々の面倒をお願いします。

お陰様で今年も元気に過ごせました。年金の中から僅かですが送らせていただきます。何かに活用してください。

よろしくお願ひします。

時節柄、職員の皆様、ご自愛のほど願ひます。

平成26年11月

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。  
(平成26年10月1日～12月31日受付分) (順不同・敬称略)

一般寄付

喜多方地区

・桜町 小椋 正次

・一市民

・岩月町下台 山本 豪

・会津喜多方商工会議所女性会

・唐橋 秀子

・塩川中学校

・匿名 車いす1台

御清水

・桜町

・関柴町小松

・会津若松市

・松山町高畑

・寺町一区

・豊川町太郎丸

・関柴町関柴

・松山町松ガ丘

・塗物町

・菅原町

・岩月町上田

・岩月町上田

・栄町

・豊川町一ノ堰一区

・関柴町上高瀬

・熊倉町七本木

・松山町村松第一区

・熊倉町熊倉上

・岩月町治里

・関柴町中里

・埼玉県川越市

・熊倉町芦平

・上三宮町三宮一区

・熊倉町七本木

・関柴町下柴

・関柴町下柴

浅野 太志

・小椋山 隆幸

・鈴木 隆晴

・渡部 賢一

・齋藤 賢一

・細谷 吉嗣

・小荒井 広

・高橋新一郎

・山田 善彦

・岩田善一郎

・中川 智

・東條 幹雄

・佐藤 郁男

・星 新喜

・村澤 謙一

・小峯 昭彦

・生亀 昭彦

・赤枝 幸彦

・児島 哲也

・川瀬 弘次

・鈴木 修一

・佐藤 文晴

・瓜生 文也

・鈴木 文也

・澤井 輝昭

・高畑 文雄

・小松 文雄

瓜生 泰春

・飯塚 修一

・岩下 裕見子

・園木 和也

・飯野 吉文

・大竹 和志

・鈴木 伸幸

・原 善幸

・赤崎 敏則

・新崎 榮一

・大野 公男

・長井 俊明

・田部 重光

・野邊 哲哉

・遠藤 浩嗣

・花見 浩嗣

・日中

・金屋

・黒川 鉦山

・川原 鉦山

・御林

・上野

・鷺田

・五日

・新崎

・岩尾

・大里

千咲原 正人

・木曾 一雄

・一ノ木 秋義

・藤沢 忠義

・早稲谷 春一

・撫木 春一

・安部 春一

・中村 忠義

・高橋 秋男

・佐藤 秋男

・小森 秋男

・前田 秋男

・佐藤 秋男

・唐橋 秋男

・佐藤 秋男

・唐橋 秋男

喜多方市社会福祉協議会  
賛助会員に加入いただき  
ありがとうございます。

賛助会員とは  
社会福祉協議会事業推進の趣旨や目的に賛同し、地域福祉を推進する支援者の方々のことです。  
住みやすい地域づくりに、制度だけでは解決できない課題等もあり、皆様お一人おひとりの協力が不可欠です。  
賛助会員は喜多方市社会福祉協議会の本所・支所で随時加入の受付をしております。是非皆様のご理解とご協力をお願いいたします。  
(企業・団体)  
株式会社坂内

高郷地区

・吹萩

・地割

・利田

・大原

・西羽賀

・齋藤 友則

・佐藤 友則

・唐橋 友則

・唐橋 友則

山都地区

・上林

・堰沢

・川隅

・洲谷

・本木

・上林

・舟岡

福川地区

・源太

・大木

・大木

・大木

・上遠田

・反田

・源太

・上遠田

・大沢

・9区

・大木

・新井田谷地

・2区

・中ノ目

・下遠田

・西常世

・東常世

・5区

・別府

須藤 孝博

・関本 和博

・大竹 重信

・鈴木 省信

・大竹 敬信

・中川 善正

・須藤 富二男

・大村 修一

・佐川 力夫

・星 アイ子

・上野 誠一

・武藤 耕治

・大竹 耕苗

・田部 勝春

・二瓶 健治

・平宮 邦子

・齋藤 秀一

・穴澤 利明

・大竹 秀一

個人

・岩本 智子

・廣瀬 雅彦

・松本 恵美

・五十音順・敬称略

※社協だよりVol.133号掲

載以降、12月31日までに

ご協力いただいた方を掲

載いたしました。

# 平成27年度 新会員募集お知らせ

## 喜多方市高齢者生産活動センター

【募集期間】平成27年3月1日～3月31日  
 【募集人員】各グループ 10名程度  
 【募集資格】市内在住者 60歳以上  
 【費用】年会費及び材料費

### ☆陶芸グループ

(週2回～1班は火・木曜日、2班は水・金曜日)

地元「宮津の粘土」や流紋、笠間、志野粘土などを使って花器や茶碗、皿などを作陶し、販売をしています。

### ☆手芸グループ(毎週火曜日)

籐・編み物・バッグ・パッチワーク・起き上がり小法師などを製作販売しています。

### ☆押し花絵グループ(月2回程 金曜日)

乾燥花々の押し花で、葉や額絵、ブローチ、絵ローソクなどを制作販売しています。

### ☆織物グループ(毎週木曜日)

卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バックなどを製作販売しています。

### ☆園芸グループ(毎週火・木曜日)

圃場や温室で花木を栽培し、販売をしています。

### ☆菌茸グループ(春から秋の40日程度)

椎茸を栽培し、原木の菌打ち作業や生椎茸・乾燥スライス加工などをして販売しています。

### ☆わら工芸グループ

(10月から12月を中心とした50日程度)

わらや菅を使って、注連縄や玄関飾りを製作販売しています。

グループ活動には、他に活動センターまつりやイベントへの出展や販売があります。また、体験指導や技術向上のためのグループ視察研修等も行ないます。

※会費等は各グループにより異なりますので、詳細については、問い合わせ下さい。

### 【問い合わせ、申し込み先】

喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1  
 喜多方市高齢者生産活動センター  
 ☎0241-24-2297



## 平成26年度 除雪ボランティア事業

今年の冬は早い時期の降雪が根雪となり、市民の皆さんも除雪作業にご苦労されたことと思います。

本協議会と民生児童委員連合会、各地区民生児童委員協議会では、ひとり暮らし高齢者等の住宅の除雪・排雪を行うことにより、除雪作業の負担軽減と、中学生、高校生のボランティア活動に対する理解を深めていただくことを目的として、各関係機関と連携しながら市内5地区で除雪ボランティア事業を実施いたします。



※今月の実施予定地区 (喜多方地区、塩川地区、山都地区は1月中に終了しました)

地区	日時	集合場所	参加申込・問合せ先
熱塩加納地区	2月7日(土) 8:40～11:30	保健福祉センター夢の森	社協 熱塩加納支所 ☎0241-36-3112
高郷地区	2月21日(土) 9:00～11:30	高郷公民館	社協 高郷支所 ☎0241-44-7111



※きたかた社協だよりの作成経費として、社協会員会費及び共同募金配分金を活用させていただきます。